

『実りの秋』の第2学期を終えて ～ 第2学期 終業式・14日間の冬休み ～

本日、第2学期が終了しました。「実りの秋」という言葉のとおり、日々の授業や様々な学校行事、部活動、学級・生徒会活動等を通じて、多くの生徒が、心身ともに大きく成長した第2学期だったと思います。一方で、学習面や生活面、友人関係での課題もありました。特に、第1学年では、日々の授業で集中して学習に取り組むことができず、自分の能力や可能性を伸ばすことができないだけでなく、まわりの生徒の学習の邪魔をしてしまう生徒がいたことが、とても残念です。3学期は、日々の学習に真剣に取り組んでくれることを願っています。

明日から冬休みに入ります。冬休みは、地域の文化や伝統行事に触れたり、家族の一員としての役割を果たしたりする絶好の機会です。特に、家の仕事やお手伝いなど、家族への「恩返し」をしてほしいと思います。生徒の皆さんが、「自主」・「自立」・「自律」の三つを意識して、有意義な冬休みを過ごしてくれることを期待しています。また、現在、季節性インフルエンザが流行しています。新型コロナも心配です。特に、3年生にとっては、年明けには受験が始まります。冬休み中も「基本的な感染防止対策の徹底」を継続してほしいと思います。

保護者の皆様・地域の皆様には、今学期も本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。よいお年をお迎えください。



『ともに生きよう』 ～ 令和7年度 人権学習・人権集会（人権に関する講話） ～

12月10日（水）、今年度の人権学習のまとめとして「人権集会」が開催されました。今年の人権学習のテーマ『ともに生きよう』のもと、各学年では、それぞれの発達段階に応じた人権学習に取り組んできました。

人権集会では、まず、人権に関する講話があり、身体障害者ある平戸市内在住の田中恵美子さんを講師にお迎えし、困難があっても自分の力や良さを生かしながら前向きに生活することの大切さなど、様々なお話を聴かせていただきました。また、片手だけでの折り鶴づくりを実演していただくとともに、全校生徒に丁寧に作られた折り鶴をプレゼントしていただきました。ご自身の体験をもとにしたお話は、生徒一人一人の心に強く残るものでした。次に、全校生徒で取り組んだ「人権標語」の優秀作品の紹介がありました。そして、集会の最後には、実行委員会で作成した『田平中学校 人権宣言』が、全校生徒の賛同を得て採択されました。

これからも、人権に関する学習を深め、人権に関する知識と人権感覚を豊かにしていきましょう。また、いじめや差別のない、すべての生徒と先生がともに安心して生活できる学級・学校、さらには、すべての人が安心して生きていける社会の実現を目指して、まずは、生徒一人一人が、日々の学習にしっかりと取り組んでいきましょう。

【令和7年度『田平中学校 人権宣言』実践項目】

- 一、暴力や暴言、いじめや差別のない安心して生活できる学級・学校を創ります。
- 一、病気や障がいについて正しく知り、人を大切に作る言動をします。
- 一、みんなが生きやすい社会を創り担う大人になるために、日々の学習にしっかりと取り組みます。

